



ユーザーマニュアル

第18章 シートインデックス

TREND ROAD Designer 2026
2026年9月作成

※解説図に一部英語表記があり、実際の画面と異なる場合があります。ご了承ください。

第18章 シートインデックス

この章では、[キャビネット ] 内の「シートインデックス」について説明します。シートインデックスは、個別に出力した図面を整理し、シートモデル  の図枠内に表示される図面番号を自動的に入力したり、図面集を一括印刷することができる機能です。

目次

18A シートインデックスの紹介	1
18A.1 シートインデックスによる文字フィールドの自動更新	4
18A.2 シートインデックスの編集	5
18A.3 シートインデックス内のシートおよびフォルダの並べ替え	6
18A.4 シートインデックス管理に関する注意点	6
18B シートインデックスへのシートの追加	7
18B.1 シートインデックスにシートを追加する別の方法	9
18C シートインデックスのフォルダ構造と接頭辞	11
18C.1 シート接頭辞を設定するサブフォルダプロパティ	13
18C.2 シートインデックスへのサブフォルダの追加と削除	14
18D シートインデックスからの印刷	16
18E シートインデックスからのシートテーブルの作成	17

出典

This manual is created by the Federal Highway Administration (FHWA) and translated by Fukui Computer. We sincerely appreciate FHWA's permission to use the manual.

このマニュアルはアメリカ連邦高速道路局（FHWA）が作成し、福井コンピュータが翻訳したものです。FHWAよりマニュアルの使用許可をいただいております。

使用データ

・My City Construction 静岡県下田土木事務所（一）河津下田線 伊豆地域振興対策道路整備事業に伴う設計業務委託
・国土地理院「地理院タイル（標高タイル）」 URL : <https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>

18A シートインデックスの紹介

各プロジェクトには、固有のワークセットが存在します。プロジェクトで使用されるすべてのTRDファイルは、そのプロジェクトのワークセットに紐づいています。そして、各プロジェクトのワークセットには、単一のシートインデックスが作成できます。

シートインデックスとは、作成した図面（シートモデル¹）をフォルダ管理するデジタル版の図面バインダーのようなものです。このシートインデックスには「キャビネット²」からアクセスします。

備考：「キャビネット²」に表示されるプロジェクトのシートインデックスは、現在アクティブなプロジェクトのワークセットによって異なります。目的のシートインデックスにアクセスするには、対応するワークセットに属するTRDファイルを開いてください。

1 「キャビネット」を開きます

2 シートインデックスを展開

ヒント：シートインデックスを編集するには「シートインデックスを編集のために開く」ボタンを押します

プロジェクトのワークセット名（親フォルダ）

シート番号

シートインデックスに追加されたシートモデル

図面集のセクションフォルダ（サブフォルダ）
※手で追加します
18C.2 シートインデックスへのサブフォルダの追加と削除を参照してください

シートインデックスは、主にシートモデル¹の整理や、図面番号の自動ナンバリングを行うために使用されます。シートインデックスが作成された後は、印刷を行うために「印刷管理ツール」へエクスポートすることができます。シートインデックスの印刷は、「19B シートインデックスの印刷」を参照してください。

ヒント*：「編集のためにシートインデックスを開く」³ ボタンをアクティブにするまで、シートインデックスの編集はできません。

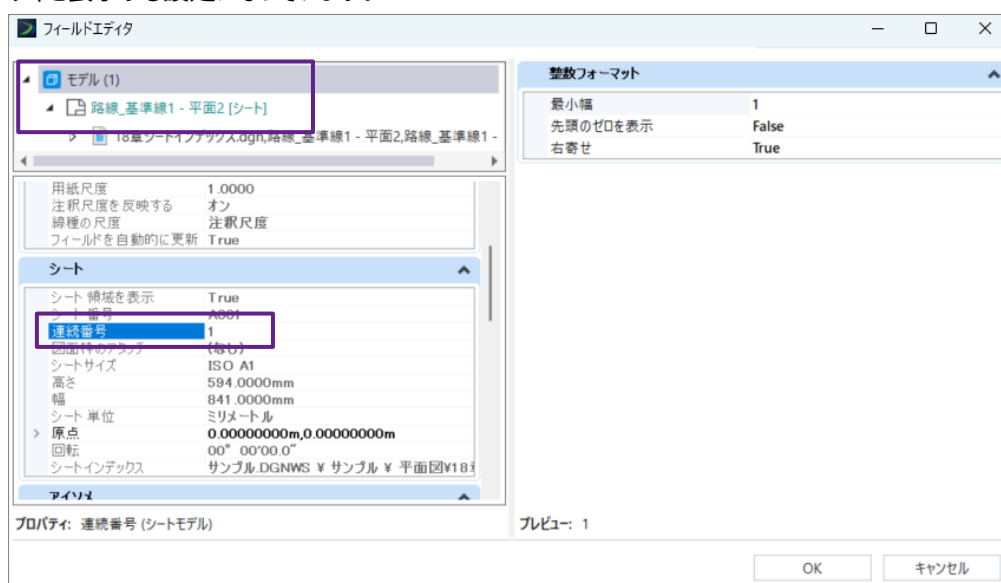
図面枠（表題部）の図面番号の自動ナンバリング：

シートモデル¹をシートインデックスに追加すると、図面枠のシート番号として管理できるようになります。

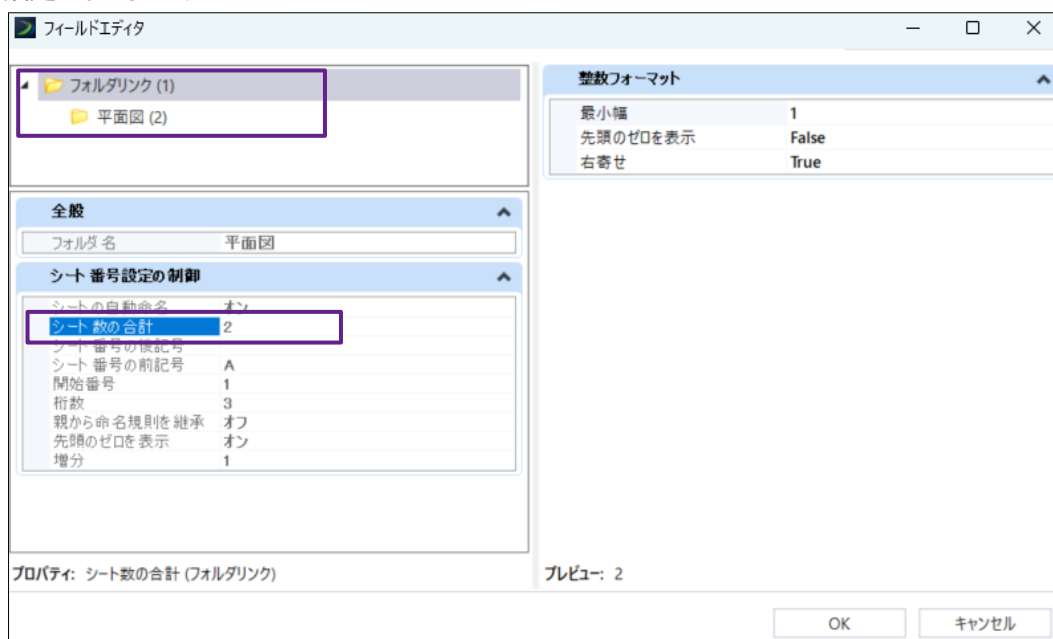
デフォルトでは、平面図の表題部のみ図面番号の文字フィールドが表示されるようになっています。この文字フィールドを編集し、分母側の数値を図面全体の合計に設定することも可能です。

工事名			
図面名			
作成年月日			
縮尺		図面番号	1/2
会社名			
事業者名			

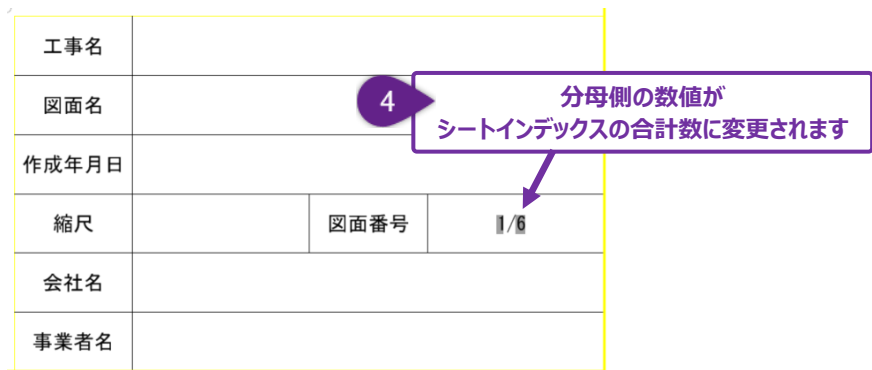
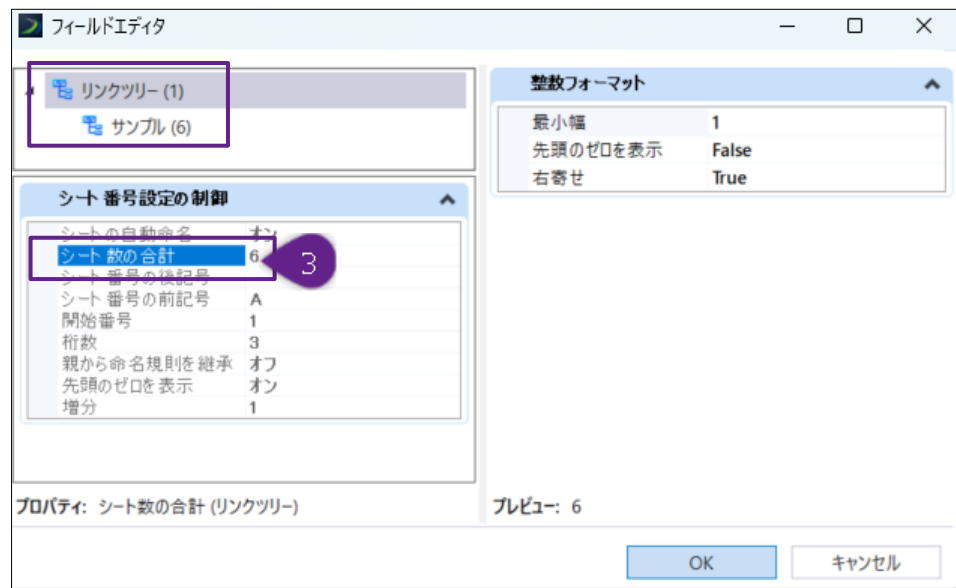
図面番号をダブルクリックし「テキストエディタ」を開きます。「テキストエディタ」自体は「文字を配置」を使用して起動することもできます。この例では、1の数字をダブルクリックし、「フィールドエディタ」を開きます。この数値は、シートモデルの「モデル」プロパティのうち、連続番号のプロパティを表示する設定になっています。



次に分母側の数値（この例では2）をダブルクリックすると、2の数値はシートインデックスの「サブフォルダ」プロパティのうち、「シートの合計」を表示する設定になっています。



分母の数値を変更し、シートインデックス全体の合計数を表示するには次の手順で行います。



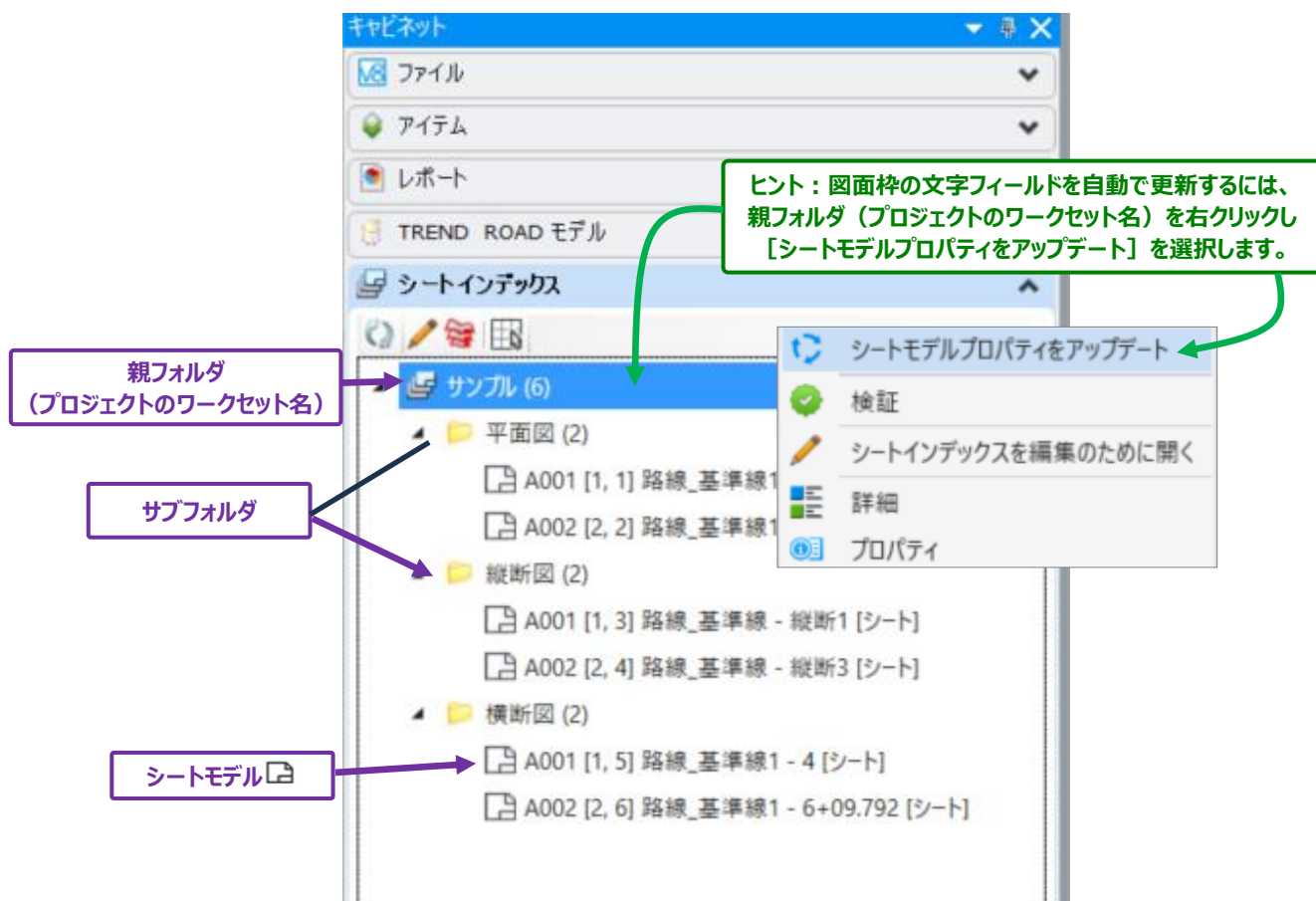
1	まず分母側の数値である「2」を削除し、「f(x)」アイコンのフィールド挿入を選択します。
2	フィールドのタイプ一覧から「シートインデックス」を選択し、OKをクリックします。
3	「シート番号設定の制御」サブメニューから「シート数の合計」を選択し、OKをクリックします。
4	テキストエディタに表示される数値が、シートインデックスの合計数になったことを確認し、ビュー上で左クリックすると表題部のテキストが更新されます。

18A.1 シートインデックスによる文字フィールドの自動更新

シートモデル¹の図面枠にある文字フィールド（例：シート番号、プロジェクト名）は、シートインデックスから「シートモデルプロパティをアップデート」を実行して自動更新できます。このコマンドは、「キャビネット²」のシートインデックスで、シートモデル¹、サブフォルダ、または親フォルダを右クリックすると表示されます。

TRDファイルとシートモデル¹を個別に開いて手動入力しなくても、図面枠の文字フィールドが更新されるので便利です。

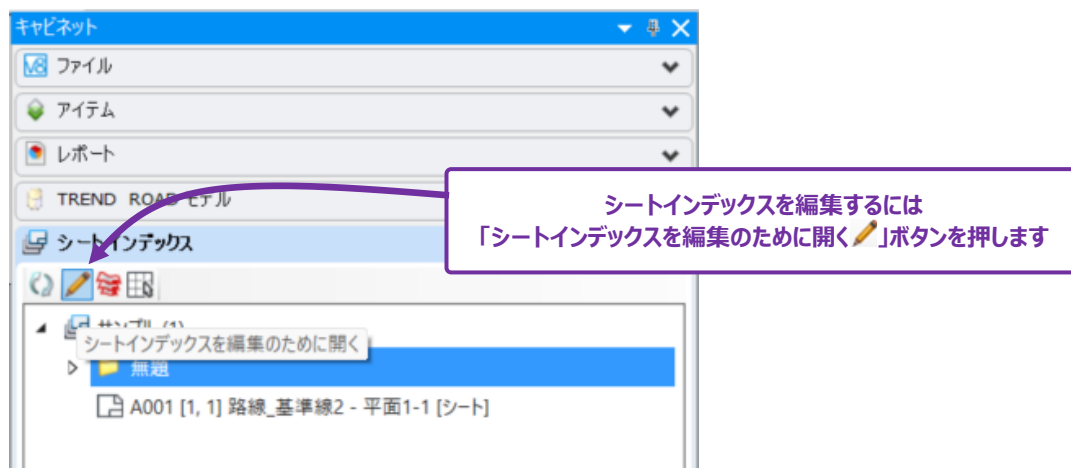
例えば、シートインデックス内でシートを並べ替えた場合は、親フォルダを選択して「シートモデルプロパティをアップデート」コマンドを実行します。これにより、各TRDファイルを個別に開かなくても、すべての文字フィールドが一括で更新されます。



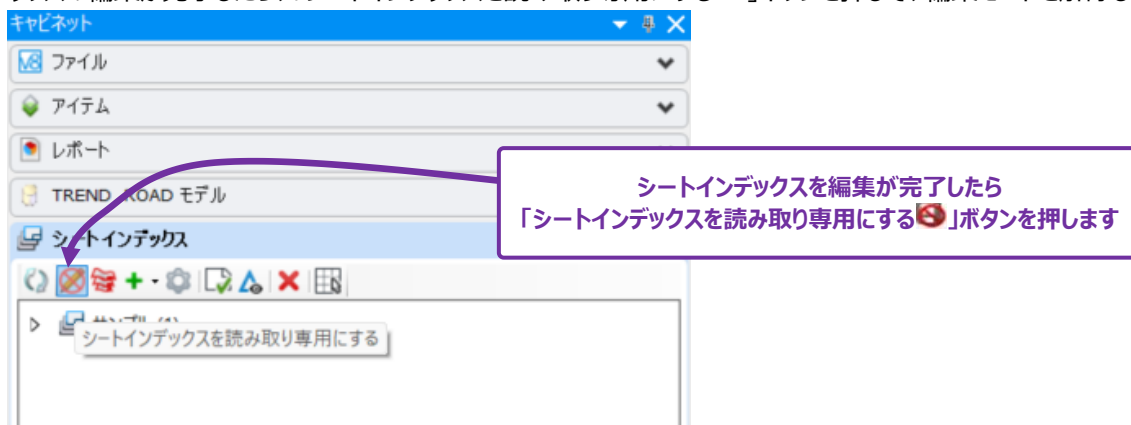
18A.2 シートインデックスの編集

シートインデックスは「読み取り専用」モードで印刷するため、初期状態では「読み取り専用」モードになっています。シートインデックスを編集するには、「編集のためにシートインデックスを開く」ボタンを押してください。

警告： シートインデックスが編集のために開かれている間、他のユーザーはアクセスできなくなります。



シートインデックスの編集が完了したら、「シートインデックスを読み取り専用にする」ボタンを押して、編集モードを解除します。

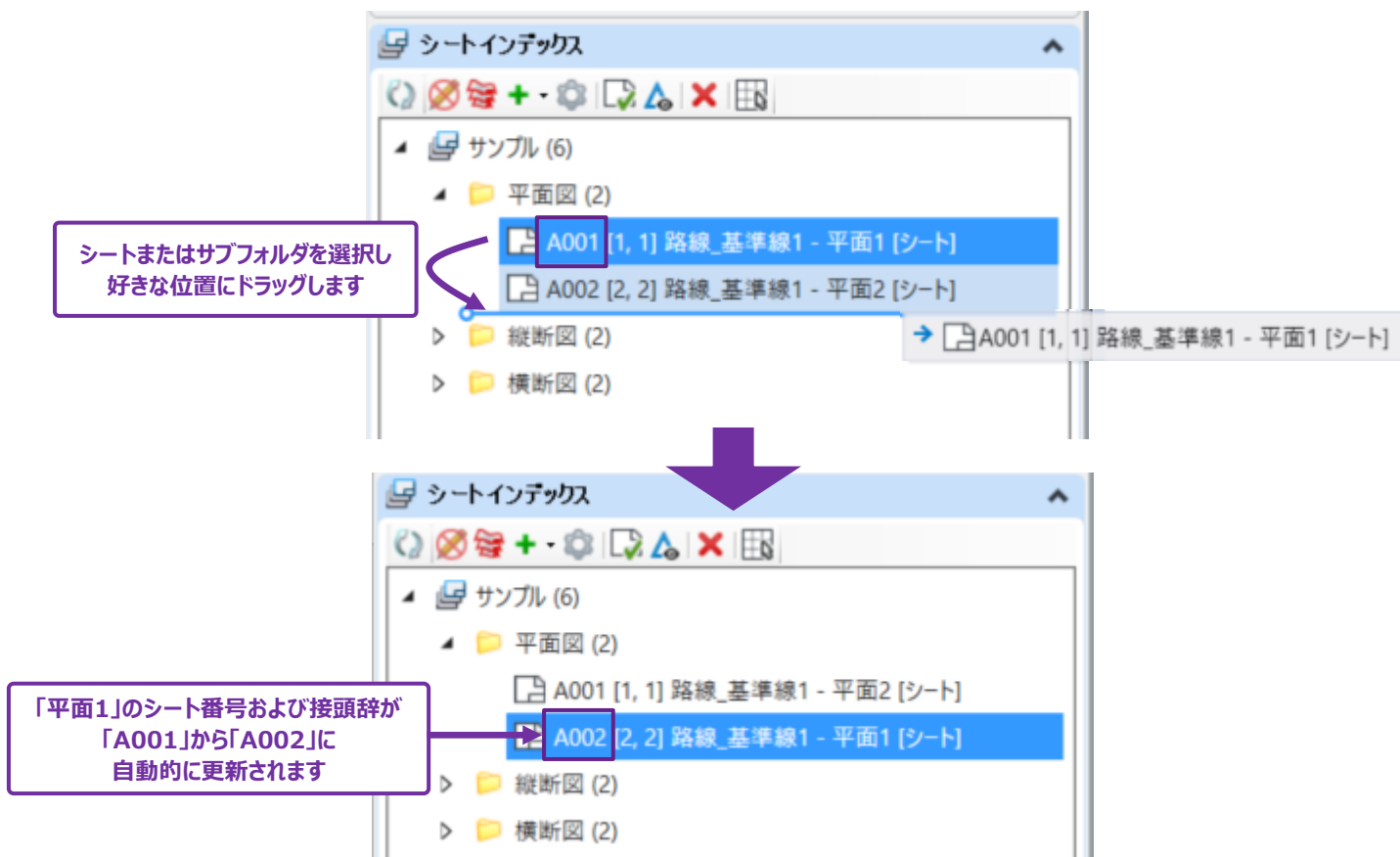


推奨： 編集を行った後は、必ずシートインデックスを閉じて読み取り専用にします。シートインデックスを開いたままにしておくと、モデル間の切り替えやTRDファイルの切り替え時にソフトウェアがクラッシュする可能性があります。

18A.3 シートインデックス内のシートおよびフォルダの並べ替え

「編集のためにシートインデックスを開く」 ボタンを押した後、シートインデックス内のシートやフォルダは、目的の場所へドラッグすることで並べ替えることができます。

シートが新しい場所にドラッグされると、シート番号およびシート番号の接頭辞が自動的に更新されます。ただし、サブフォルダを新しい場所へドラッグした場合は、サブフォルダ名およびシート番号の接頭辞のプロパティを手動で調整する必要があります。サブフォルダのプロパティにアクセスして調整する手順については、「18C.1 サブフォルダプロパティでのシート接頭辞の設定」を参照してください。



18A.4 シートインデックス管理に関する注意点

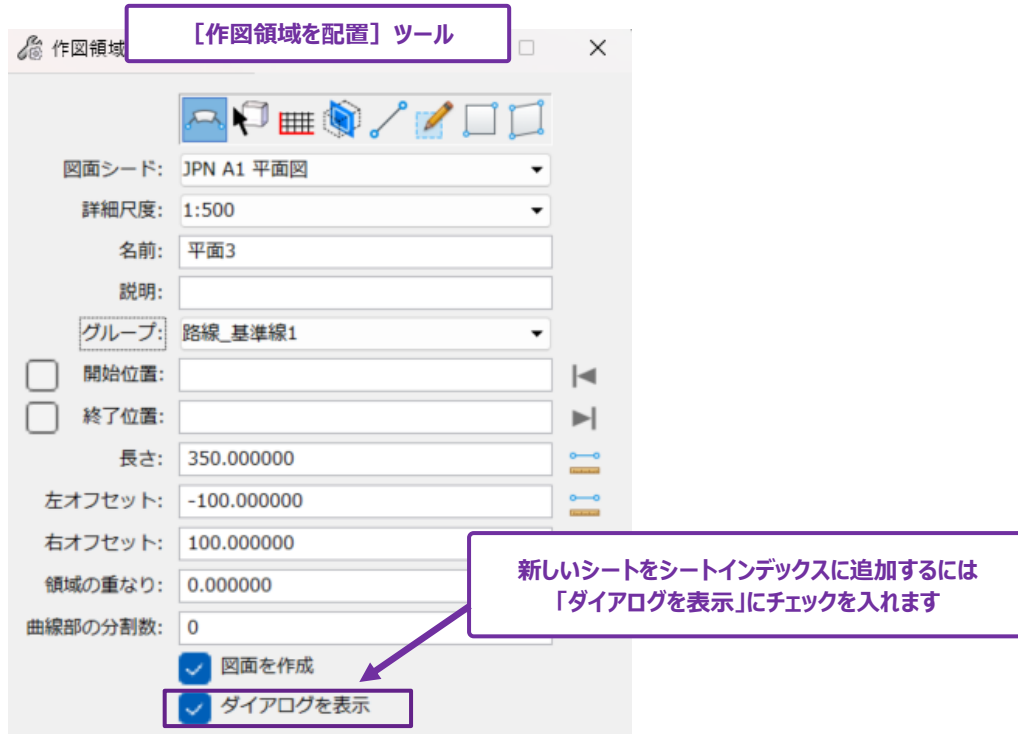
シートインデックスのデータは、対応するワークセットに関連付けられおり、以下のパス内にあるdgnwsファイルで管理されています。

C:\ProgramData\Bentley\TrendRoad Designer(バージョン番号)\Configuration\WorkSpaces\JAPAN\WorkSets

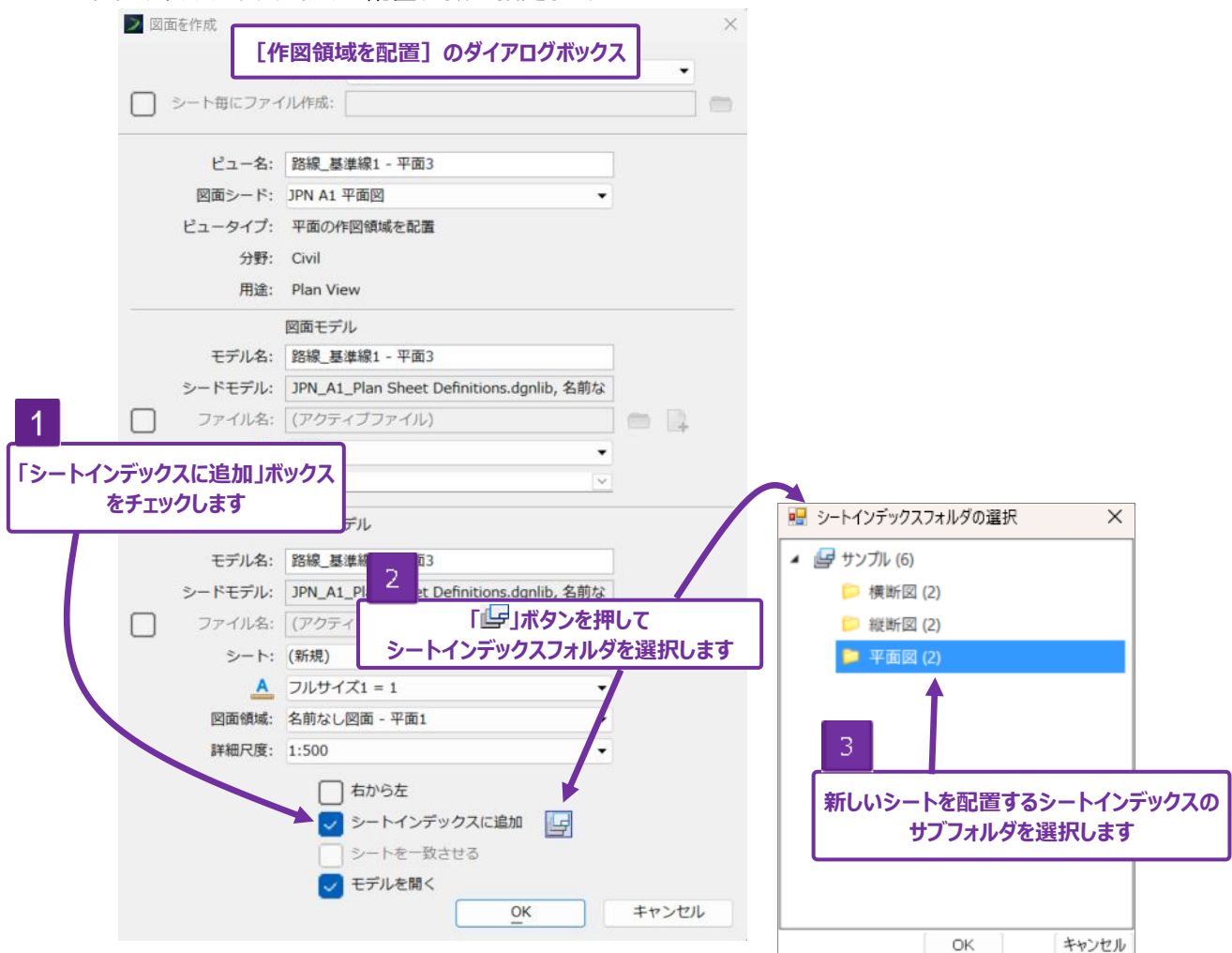
そのため、シートインデックスが複数ユーザー間で共有可能なのは、「Worksets」フォルダがネットワーク上に保存されている場合（例：社内ネットワークドライブ）のみです。「ワークセット」フォルダが個人のPCのローカルドライブ（例：Cドライブ）に保存されている場合、他のユーザーはそのシートインデックスにアクセスできず編集できません。

18B シートインデックスへのシートの追加

作成したシートモデル^①をシートインデックスに追加するには、[作図領域を配置] を使用してシートモデル^②を作成する際に、ダイアログのオプションで「ダイアログを表示」にチェックを入れます。



[作図領域を配置] のダイアログボックスで、「シートインデックスに追加」ボックスをチェックし、^③ ボタンを選択して、新しいシートをどのシートインデックスのサブフォルダに配置するかを指定します。



既に作成されたシートを、シートインデックスに追加する場合は、そのシートを含むTRDファイルを開いてください。[キャビネット] のシートインデックスと [モデル] の両方を開き、[モデル] からシートインデックスへシートをドラッグします。

追加した後にシートインデックス一覧から削除したい場合は、シートインデックスメニューアイコンにある ✖ 削除を押します。

ヒント: 「編集のためにシートインデックスを開く」ボタンを押して編集モードを有効にしないと、シートインデックスは編集できません。

1	シートインデックスに追加するシートモデルを含む TRDファイルを開きます。
2	[モデル] を開きます。
3	[モデル] で、シートモデルを左クリックし、左クリックボタンを押したままにします。シートモデルをシートインデックスの適切な場所へドラッグします。

1 シートインデックスに追加するシートモデルのある TRDファイルを開きます。

2 モデルを開きます。

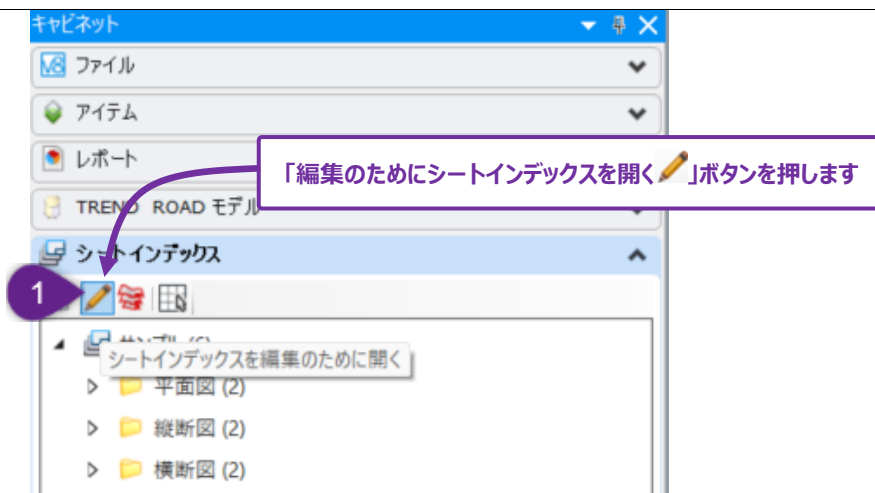
3 シートモデルをモデルからシートインデックスへドラッグします

18B.1 シートインデックスにシートを追加する別の方法

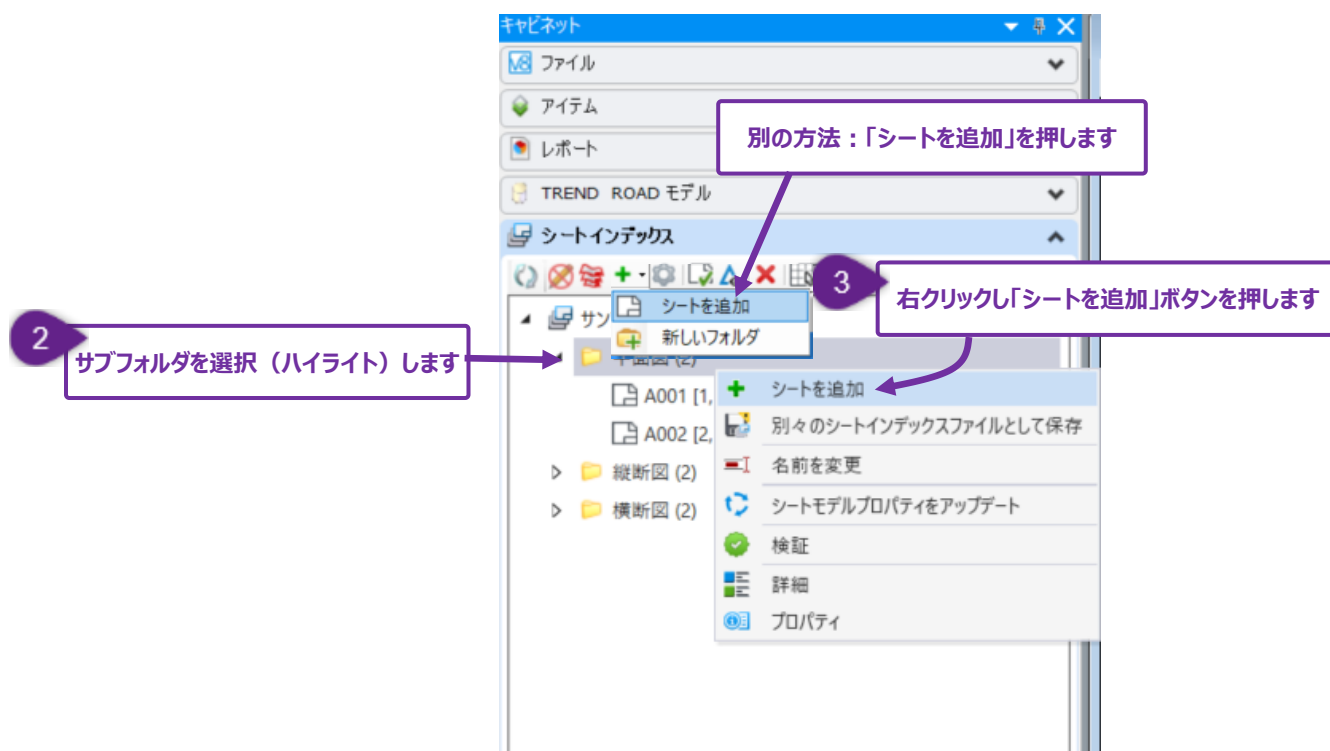
シートをシートインデックスに追加する別の方法は、[キャビネット]内のシートインデックスにある「シートを追加」ボタンを使用することです。

この際、シートモデルを含むTRDファイルが、適切なプロジェクトのワークセットに割り当てられていることを確認してください。シートモデルが異なるプロジェクトのワークセットに属している場合、エラーメッセージが表示されます。

1	「編集のためにシートインデックスを開く」ボタンを押してシートインデックスをアクティブにします。
---	---

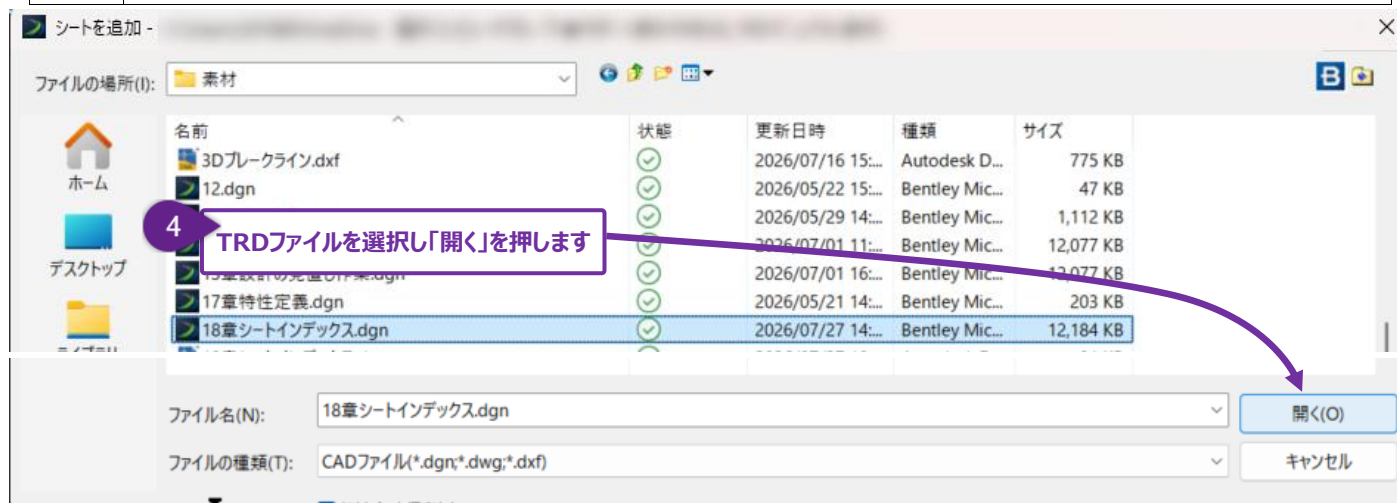


2	シートモデルを配置するサブフォルダを選択（ハイライト）します。
3	サブフォルダを右クリックし、「シートを追加」ボタンを押します。 別の方法：アイコンメニュー一覧の+ボタンから、「シートを追加」を選択します。



4

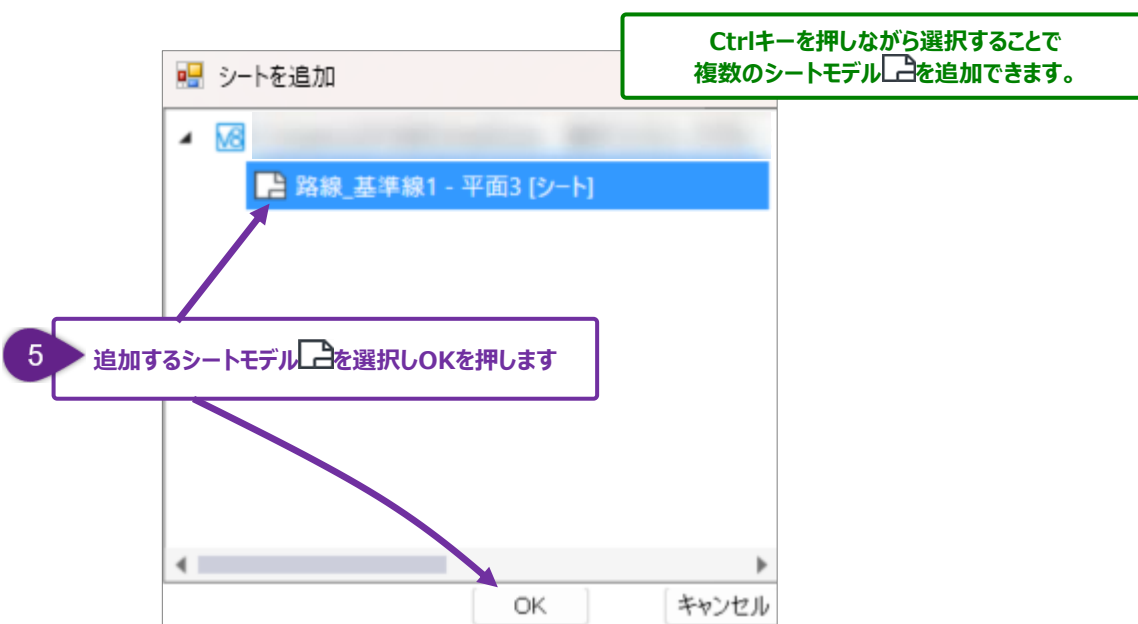
追加したいシートモデルを含むTRDファイルがあるファイルの格納場所に移動します。



5

シートインデックスに追加するシートモデルを選択します。

ヒント: Ctrlキーを押しながら複数のシートモデルを選択することも可能です。TRDファイル内のすべてのシートモデルを選択するには、リストの先頭にあるシートモデルを選択し、SHIFTキーを押しながら、リストの最下部にあるシートモデルを選択します。



18C シートインデックスのフォルダ構造と接頭辞

シートインデックスのフォルダ構造は、「親フォルダ（プロジェクトのワークセット名）」、「サブフォルダ」、「シートモデル」で構成されます。

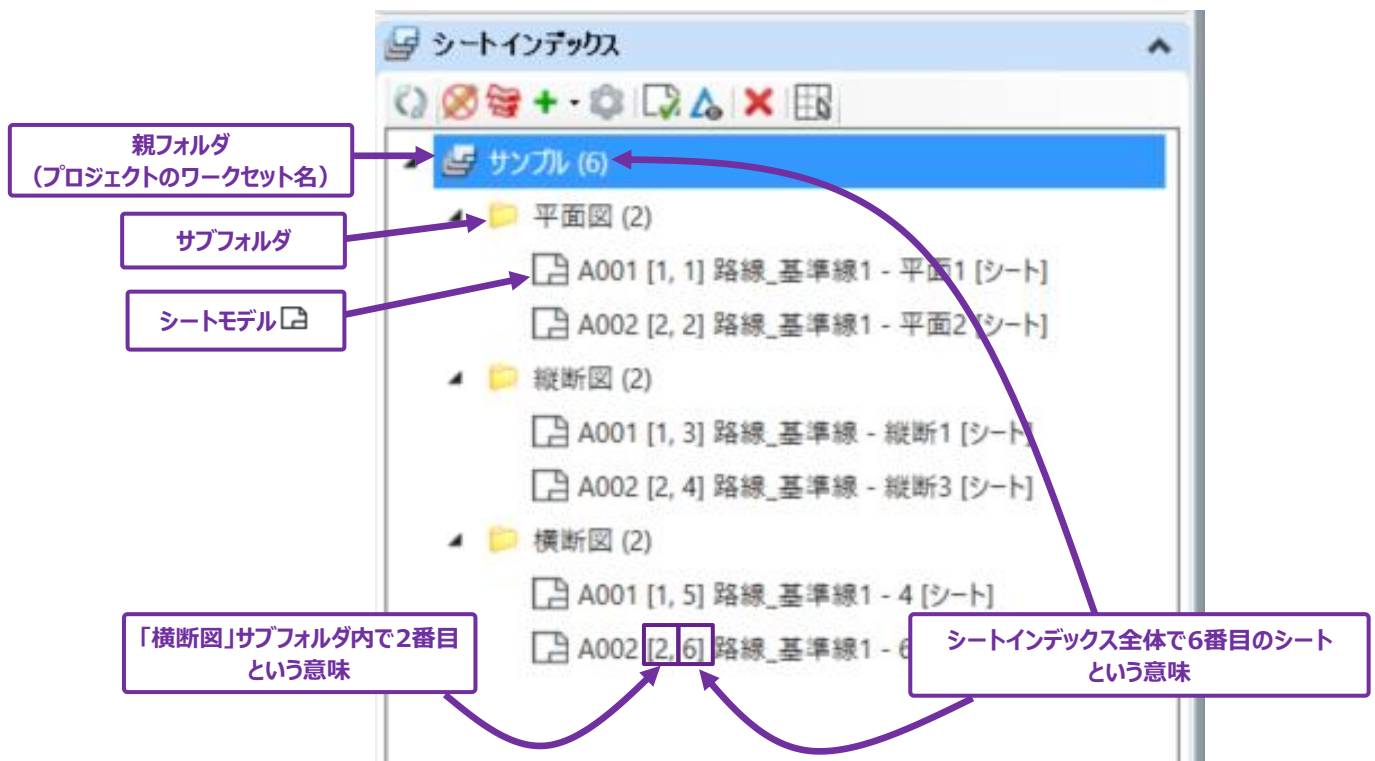
親フォルダ：親フォルダはシートインデックスの最上部に位置します。親フォルダの名前は、プロジェクトのワークセットから引き継がれます。カッコ内の数値（下図では例「18」）は、シートインデックスに含まれるシートの合計数を表します。

サブフォルダ：図面集の工種・区分ごとに、対応するサブフォルダを作成・割り当てます。シートモデルは適切なサブフォルダ内に配置されます。サブフォルダのプロパティによって、シート番号の接頭辞やナンバリングなどが制御されます。カッコ内の値（下図の例「10」）は、サブフォルダ内のシート合計数を表します。

シートモデル：シートモデルは、図面集における1枚のシートを表します。シートインデックス内では、シートモデルは以下のような例の形式で表示されます。

例："A002 [2, 6] 路線_基準線1 - 6 [シート]"

- Aは図面の接頭辞、002はシート番号を表します。
- [2, 6] の左側の数値2はサブフォルダ内でのシートの配置順序、右側の数値6はシートインデックス全体におけるシートの通し番号を表します。
- 路線_基準線1 - 6 [シート] は、シートモデルに割り当てられた固有の名前です。シートモデルの名前は、[作図領域を配置] ダイアログで編集しない限り、シートモデルの作成時に選択した路線線形の名前が割り当てられます。



図面集の各工種・区分に対応するサブフォルダが、シートインデックス内に作成されている必要があります。サブフォルダの追加および削除方法は、「18C.2 シートインデックスのサブフォルダの追加と削除」を参照してください。

サブフォルダのプロパティ：各サブフォルダは、プロパティ①に表示される一連のプロパティを持っています。サブフォルダのプロパティを編集することで、そのサブフォルダに含まれるシートの接頭辞や番号の進み方をコントロールできます。重要なサブフォルダのプロパティの詳細については、次のページを参照してください。

ヒント：サブフォルダを右クリックしプロパティを選択します

サブフォルダのプロパティ

サブフォルダの接頭辞や番号の増分を制御するプロパティ

シート番号の接頭辞のプロパティ

全般	
フォルダ名	平面図
シート番号設定の制御	
シートの自動命名	オン
シート数の合計	2
シート番号の後記号	
シート番号の前記号	A
開始番号	1
桁数	3
親から命名規則を継承	オフ
先頭のゼロを表示	オン
増分	1

18C.1 シート接頭辞を設定するサブフォルダプロパティ

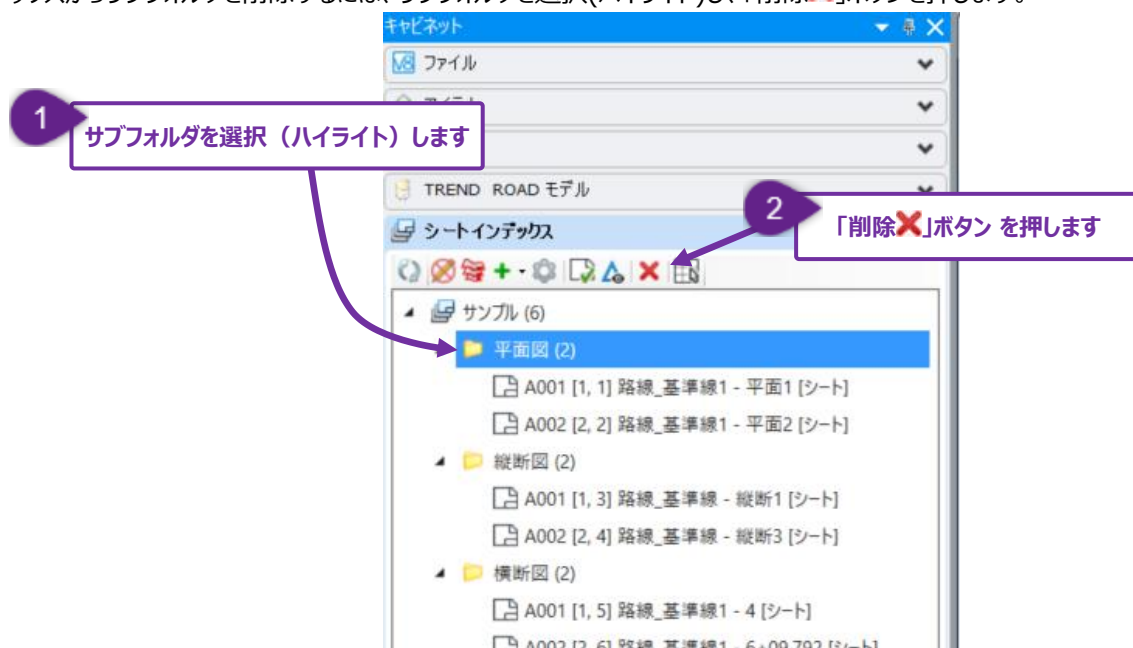
サブフォルダプロパティは、そのサブフォルダに含まれるシートの自動ナンバリング（増分）および接頭辞の付与をコントロールします。サブフォルダプロパティにアクセスするには、サブフォルダを右クリックし、プロパティを選択します。

プロパティ	サブフォルダのプロパティ 説明：
シートの自動命名	サブフォルダ内のシートの接頭辞と番号の自動付与を利用するには、このプロパティをオンに設定します。 オンに設定すると、新しく追加されたシートモデル  に対し、サブフォルダのプロパティで設定された接頭辞と番号に対応する名前が自動的に割り当てられます。 オフに設定すると、新しいシートモデル  は、モデル  に表示されているシート名に従って命名されます。
シート数の合計	このプロパティは編集できません。このプロパティはサブフォルダに含まれるシート数の合計を示します。
シート番号の前記号	シート番号の前に表示する接頭辞を設定します。接頭辞は、図面集の対応する工種・区分と一致させる必要があります。
シート番号の後記号	シート番号の後に表示する接尾辞を設定します。通常、使用しません。
開始番号	サブフォルダ内の最初のシートに割り当てるシート番号を設定します。通常、このプロパティは「1」に設定します。 この設定は、図面集の先頭ページが外部のPDFやソフトウェアで作成された場合に有効です。例えば、図面集の最初の3ページがPDFから構成されたものである場合、サブフォルダ内のシート番号の整合性を保つために、この値を「4」に設定します。 ヒント： 図面集の途中でPDF図面を挿入したい場合は、サブフォルダ内のシート番号を手動で変更することをも可能です。シートのプロパティ  を開いて、「シート番号」プロパティを手動で編集します。
桁数	このプロパティは、「先頭のゼロを表示」プロパティと直接連動します。 シート番号の前に "0"を表示したい場合に使用します(例：A01)。この場合、桁数を2に設定し、「先頭のゼロを表示」をオンに設定する必要があります。 「先頭のゼロを表示」がオフに設定されている場合、シート番号はA1になります。
親の命名規則を継承	このプロパティは通常、オフに設定します。 オンに設定すると、サブフォルダに設定した「シート番号の接頭辞のプロパティ」が無視され、シート番号はサブフォルダ内の順序に従って接頭辞なしの番号が付けられます。
先頭のゼロを表示	このプロパティは、「桁数」プロパティと連動します。 オンに設定すると、シート番号は「桁数」プロパティで指定された数値（例：A001）と共に表示されます。シート番号を「01,02…」のようにゼロ埋めで表示したい場合はオンにします。ゼロ埋めを行わず「1,2…」と表示したい場合はオフに設定します。
増分	このプロパティは1に設定する必要があります。 それ以外の数値の場合、サブフォルダ内のシートは設定値だけ増分されます。例えば、このプロパティが2に設定されている場合、最初のシートの番号の次は3になります。

18C.2 シートインデックスへのサブフォルダの追加と削除

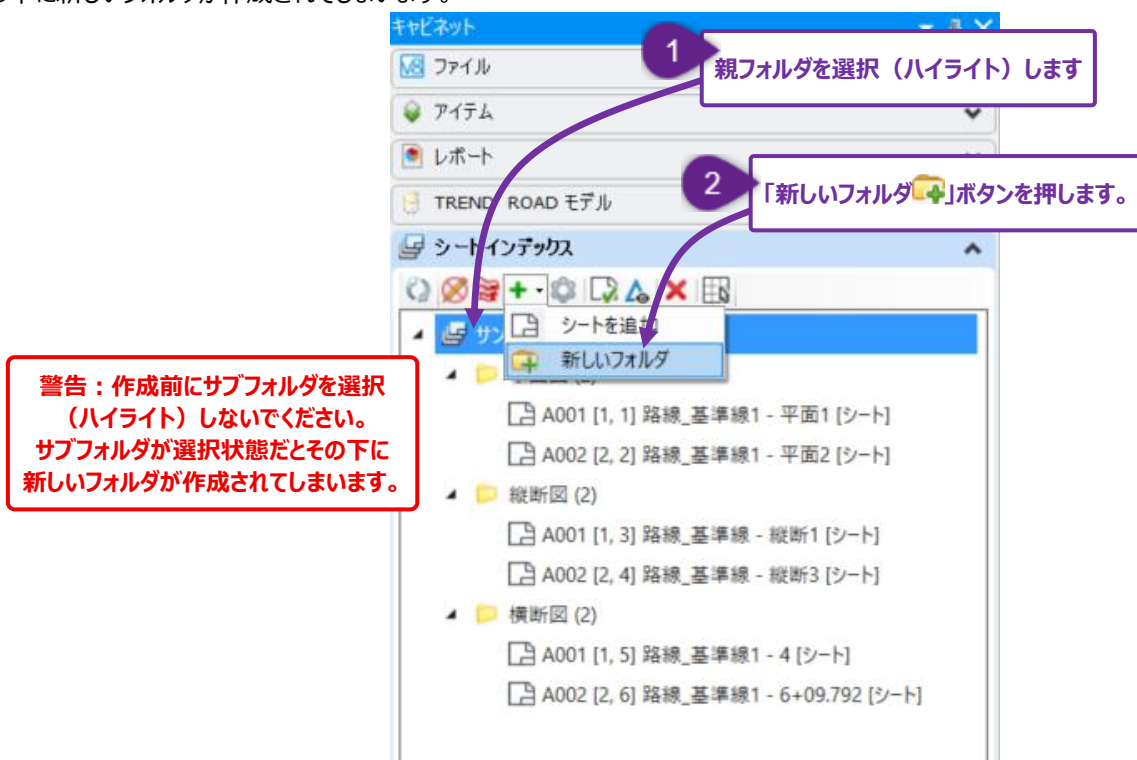
「編集のためにシートインデックスを開く」 ボタンを選択しアクティブにするまで、シートインデックスの編集はできません。

シートインデックスからサブフォルダを削除するには、サブフォルダを選択(ハイライト)し、「削除」ボタンを押します。

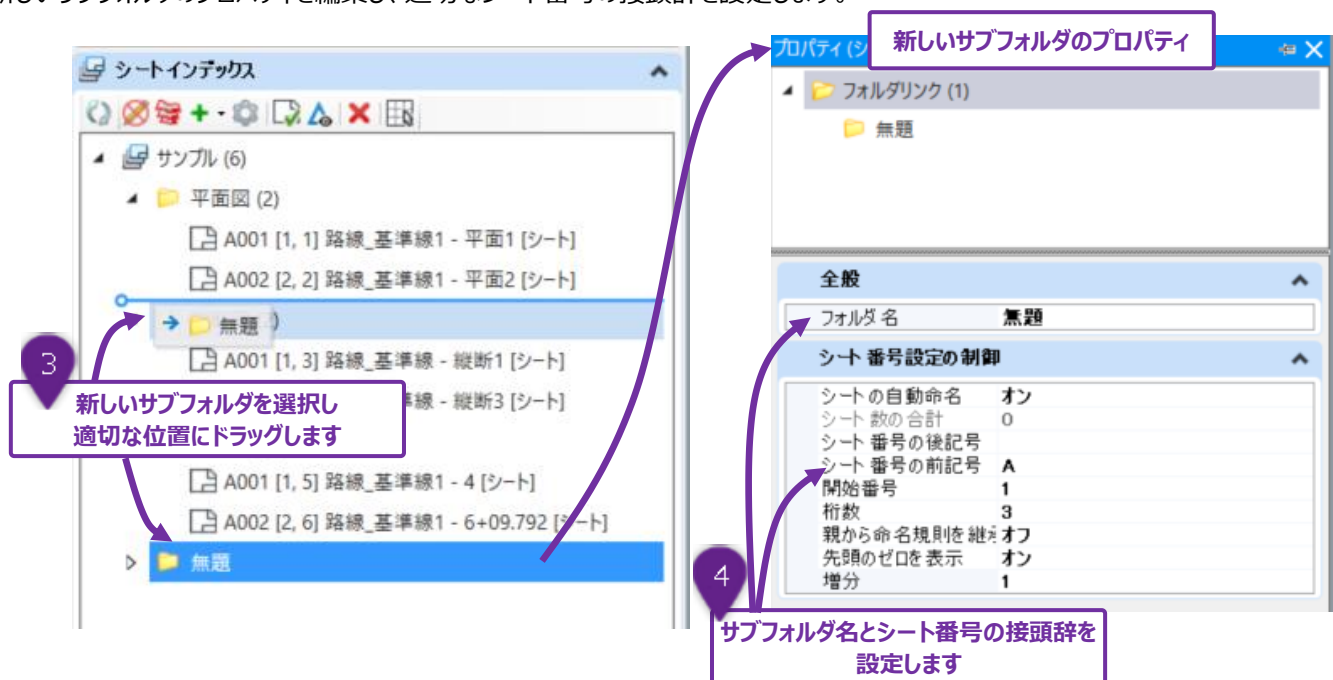


サブフォルダを追加するには、親フォルダを選択（ハイライト）し、「新しいフォルダ」ボタンを押します。

警告：「新しいフォルダ」ボタンを押す前に、サブフォルダを選択しないでください。サブフォルダを選択した状態で行くと、そのサブフォルダの下に新しいフォルダが作成されてしまいます。



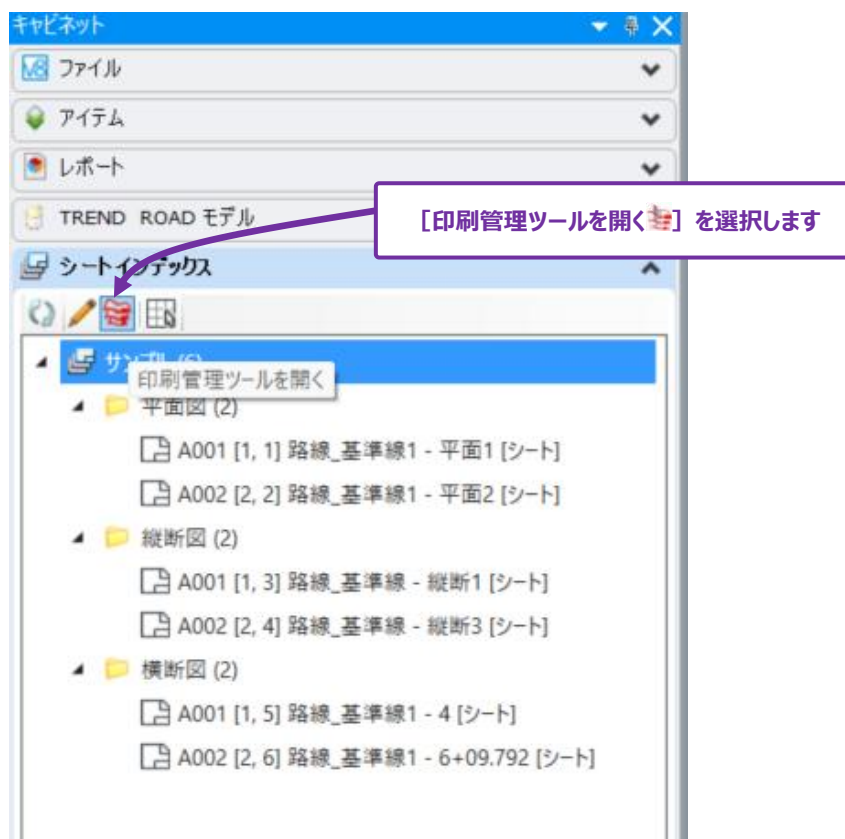
新しいサブフォルダは、シートインデックスリストの末尾に配置されます。新しいサブフォルダを適切な場所までドラッグしてください。さらに、新しいサブフォルダのプロパティを編集し、適切なシート番号の接頭辞を設定します。



備考：既存のサブフォルダの接頭辞は、新しいサブフォルダを作成したり、サブフォルダを並べ替えたりしても自動で調整されません。新しいサブフォルダの後に続くすべてのサブフォルダについて、シート番号の接頭辞のプロパティを確認してください。

18D シートインデックスからの印刷

[印刷管理ツールを開く] ボタンを押すと、選択されているシートおよびサブフォルダが [印刷管理ツール] に書き込まれます。
[印刷管理ツール] では、シートインデックス全体のPDFを印刷することができます。
[印刷管理ツール] によるシートインデックスの印刷は、「19B シートインデックスの印刷」を参照してください。

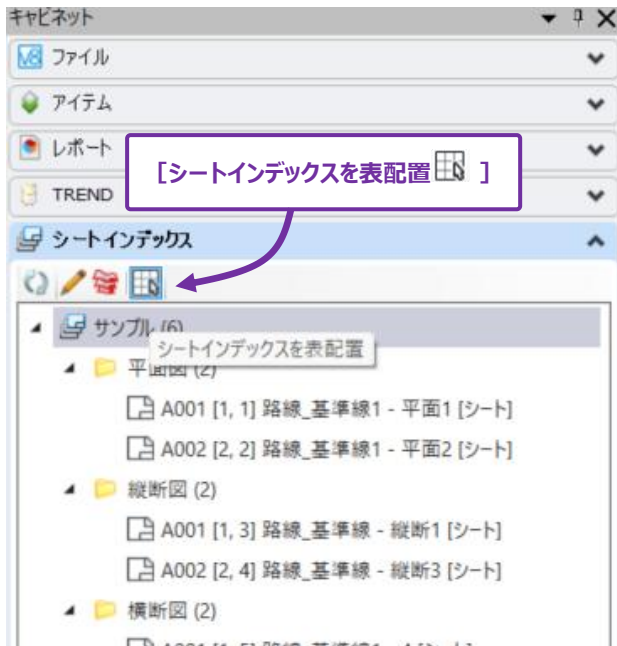


18E シートインデックスからのシートテーブルの作成

「シートインデックスを表配置」を使用すると、シートインデックスの情報を2D設計モデルに表として配置することができます。デフォルトの表設定では、シートインデックス名やサブフォルダ名、シート番号、シートモデルの作成されているdgnファイル名等の情報を表形式で配置できます。また、配置後に表を選択して、文字を編集したり、行間や列間を調整できます。

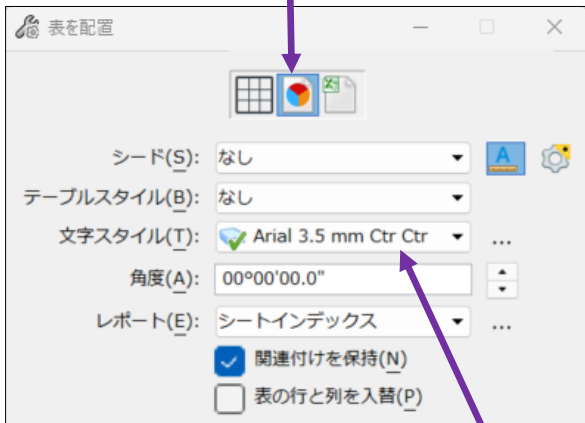
また、「表を配置」ダイアログで「空のテーブル」を選択すると、任意の表が作成できます。「ファイルから」を選択すると、Excelで作成した表をシート上に配置できます。

表を作成するには「レポートから」アイコンを選択します



「シートインデックスを表配置」

シートインデックスを表配置



文字スタイルを「Arial 3.5mm」など表の大きさを見ながら調整します



デフォルトの表スタイル

シートインデックス							
シートインデックス	フォルダ名	シート番号	連続番号	ファイル名	自動番号設定から除外	リンクタイプ	完全パス
サンプル	平面図	A001	1	16番シートインデックス.dgn	オフ	シートモデル	
		A002	2	16番シートインデックス.dgn	オフ	シートモデル	
	縦断面	A001	3	16番シートインデックス.dgn	オフ	シートモデル	
		A002	4	16番シートインデックス.dgn	オフ	シートモデル	